

九州大学文学部人文学科国際コースについて

【設置日】

平成30年4月1日

【入学定員】

10名

【目的】

日本語と複数の外国語に自覚的かつ批判的に関わる中で、人間存在の奥深さへと眼差しを向け、文化・歴史・社会の多様性を認識し、新たな人文学的知の創造に寄与することを目的とします。

【趣旨・必要性】

文学部には現在、哲学、歴史学、文学、人間科学の4つのコースの中に、合計21の専門分野が存在します。今回国際コースを新設する必要性は、次の2点です。

1. 日本語と、複数の外国語に関わる史資料や文献、作品の分析と解釈、および実地調査などを通して、世界や人間の多様性を認識し、直面する課題について理解し、解決に貢献できる能力をもった学生を養成する必要があります。
2. 日本の文化・歴史・社会について国際的に発信できる能力をもった学生を養成する必要があります。

具体的には、以下のとおりです。

1. 複数の外国語を運用する能力をもった学生の養成

国際コースの学生は、上記21の専門分野のいずれかに属し、専門分野に関する基礎的な技術と方法論を身につけ、それを深めるとともに、複数の外国語による授業、外国語文献を使った授業を履修することで、外国語の基本的な文献を読解する能力と、外国語の運用能力を高めることができます。また、留学を強く推奨し、実用的な語学能力も身に付けます。これらの能力は、人文学的知を身につけ、国際的に活躍することを指向するとき、必須のものとなります。

2. 日本文化を英語で発信する能力をもった学生の養成

国際コースの学生は、日本の言語文化に関する必修科目（英語による）を履修し、日本の文化・歴史・社会等について、国際的に発信する基礎的な能力を身に付けます。この発信能力は、従来の日本人に欠けていた能力だと考えます。

※詳細につきましては、決定次第公表いたします。